

まいにちかいえん
~毎日開園 だれでも気軽に来られる動物園~
ずー

2014年4月号
No. 24

200っといっしょ

今月のニュース!

○ キリンの赤ちゃんが生まれました!!

平成26年3月16日にアミメキリンのキサラギが10番目の赤ちゃんしゅっさんを出産しました。キサラギは23才と高齢こうれいですが、母子ともに元気あんざんで安産でした。ベテランのお母さんぶりは健全けんざんで、赤ちゃんの面倒めんどうをよく見て授乳じゅにゅうもしています。今は寝室の中で過ごしていますが、暖くなる4月下旬ごろに展示場デビューの予定です。かわいい赤ちゃんに会えるのを楽しみにしてください。



○ ムフロンにまたまた赤ちゃんが生まれました!!

先月につづいて3月9日にメス1頭、10日にオス1頭のムフロンの赤ちゃんが生まれました。先月に生まれた赤ちゃんあなごと3頭みなお母さんのおっぱいをよく飲んで元気に育っています。名前はメスは「ミク」、オスは「ツヨ」と「ハク」に決まりました。

○ こどもコーナーオープンします

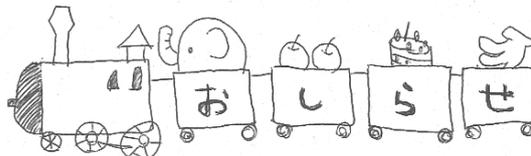
1月から改修工事かいしゅうこうじのため、こどもコーナーがご利用いただけませんでしたが、4月1日からご利用いただけます。まだ工事が残っているところがあり、新しい獣舎じゅうしゃには工事が終わり次第動物たちが仲間入りします。新しい仲間は世界で一番大きなウサギ「フレミッシュジャイアント」です。



○ オオカンガルーのこども元気に育っています

2月16日に母親のマキが亡くなったため、袋の中にいたこどもじんこうほいくを人工哺育じんこうほいくで育てています。ミルクを飲んで、牧草や野菜なども食べられるようになって少しずつですが、体重も増えています。天候の良い日には群れの仲間と仲良くできるように展示場に出て練習しています。名前は「リキ」でオスです。リキの成長を温かい目で見守ってくださいね。

4月のイベント情報



アジアゾウのお誕生日会

- ・ 4月22日(火) 午前9時30分より ゾウ舎展示場
- 59才になるアジアゾウのイズミさんのお誕生日を一緒にお祝いしませんか？
- 飼育員が手作りケーキをプレゼント。ご来園いただいたみなさまには飼育員がガイドを行います。
- ぜひ遊びにきてください。

今回は3人の飼育員さんたちに、担当している動物たちについて話を聞きました♪

ハッカンのオス

今回はキジ舎で飼育しているハッカンのオスを紹介します。

オス・メスのペアで飼育しているハッカンは、いつもはメスが強気でオスは控えめなメス優位のカップルですが、発情期になるとその時だけオスが強気になる時期がやってきます。顔の皮膚が露出している赤い部分を大きくし、少しでも近づけば攻撃するぞーと言わんばかりに荒々しく動き回ってメスを守ろうと頑張っています。

今はちょうど発情期である春になってきたため、飼育員にも掃除の時など獣舎の中に入ると鳴いて威嚇をし、飛びかかろうとします。

お客様にも飛びかかろうとすることが時々ありますが、嫌いなわけではありませんのでそっと見守ってあげてください。



魚のヒゲはかざりじゃない！

動物にはヒゲがあるものが多いです。

魚にもヒゲを持つものが多いですが、他の動物が危険物を判断したり、アンテナのようにヒゲを触覚器官として使う以外に魚はなんと

ヒゲで「味」を判断しています。魚のヒゲには人間などの舌にもある「味らい」という味を判断する細胞があり、口にする前にヒゲで味がわかるのです。甘味、酸味、辛味、苦味などを私たちの舌と同じようにヒゲで認識することができると言われており、砂などにヒゲをこすりつけているのはヒゲで味を確かめながらエサを探しているのです。水族館の魚にもヒゲがあるものがありますので、よく観察してみてくださいね！



塩類腺

ペンギンの首を振る姿を見たことがありますか？何気ない行動かもしれませんが、この行動には重要な意味があります。ペンギンは水分補給をする際、海水を飲みます。しかし、海水は塩分濃度が高いのでペンギンは余分な塩分を「塩類腺」と呼ばれる器官から体の外に出しています。

塩類腺は頭蓋骨の目の上の部分にあり、鼻と繋がっています。なので、ペンギンは首を振って余分な塩分を塩類腺でろ過し、鼻から出しているのです。

ペンギンのほかにも産卵中に涙を流すので有名なウミガメや海鳥なども塩類腺をもっています。桐生が岡動物園では、エサの魚に塩をかけて与えています。時おり、ペンギンたちが首を振って余分な塩分を出している姿を見ることができます。

ペンギンが首を振っている姿を見かけたら、

何か顔から水滴が飛んでないか観察して見てください！！

